

メディカルバレー フォーラム

みえライフイノベーションの
創出に向けて



平成24年2月6日(月)にプラザ洞津(津市)において、メディカルバレーフォーラムを開催しました。本年度は「みえライフイノベーションの創出に向けて」をテーマに、三重大学教育学部の杉田正明教授、筑波大学大学院システム情報系の山海嘉之教授をお招きしてご講演いただきました。また、当日は三重県の鈴木英敬知事及び三重大学の内田淳正学長からの主催者挨拶と、来賓として中部経済産業局の紀村英俊局長からご挨拶をいただきました。

本フォーラムでは、県内外から医療・健康・福祉分野の関係者160名が一堂に会し、産学官民のネットワークを充実・拡大することができました。また、講演会後の交流会でも、両先生を囲んで活発に意見交換をすることができました。



健康増進ビジネスの創出に向けて

～スポーツ科学によるトップアスリートの支援から学ぶ～



杉田 正明氏
三重大学教育学部教授

杉田教授は、2010年FIFAワールドカップの際の日本代表の高地トレーナーとしてチームをサポートし、今夏のロンドンオリンピックでも強化支援の検討に関する懇談会委員を務めています。講演では、選手の高強度化×高ボリューム化に起因する疲労からいかに早く回復させるかお話しされました。そのために、血液や睡眠の状況にいたるまで分析し、データをフィードバックするだけでなく、仮説や予測も入れたフィードフォワードで提案に心がけたことも参考になりました。

人の役に立ってこそ、 科学や技術は意味があります

～ロボットスーツHAL®の開発から学ぶ～



山海 嘉之氏
筑波大学大学院
システム情報系教授

山海教授は、ロボットスーツHAL®の開発者です。HAL®の活用分野は、医療、福祉、自律動作支援、介護支援、重作業支援など広範囲に渡ります。人間が筋肉を動かそうとする際、脳から筋肉に神経信号が伝わりますが、その際に皮膚表面に現れる微弱な生体電位信号をセンサーが読み取り、装着した人がどのような動きをしようとしているかを判断して、その動作をサポートするものです。講演では、HAL®の開発秘話や実際に脳血管疾患や頸髄損傷の患者さんでの活用事例紹介やHAL®の実演も行われました。

みえライフイノベーション推進事業のご報告

本年度から始めました「医療・福祉機器等の製品化促進事業」と「みえライフイノベーション推進事業費補助金」の実施状況(平成24年2月現在)をご報告します。

【医療・福祉機器等の製品化促進事業】

医療・福祉現場で必要とする医療・福祉機器、サービス等の開発のしくみを構築し、製品開発を促進することで医療・福祉産業の活性化を図っています。



セミナーの様子

① ニーズ調査アンケート

医療・福祉現場のニーズを知るために三重大学医学部附属病院、県薬剤師会、県作業療法士会、県臨床工学技士会に協力を依頼し、ニーズ調査アンケートを実施しています。
・ニーズ収集件数：100件

③ マッチング

ニーズ公開した案件について、事業者とニーズ提案者との面談を随時実施しています。その後、開発を希望する場合は、事業者とニーズ提案者が協力しながら製品化に向けて取り組んでいます。
・面談件数：27件
・現在試作に向けて取り組んでいる件数：9件

② ニーズ公開

収集したニーズは、専門家による開発促進会議にて市場性や実現可能性等を検討し、みえメディカルバレープロジェクトのホームページ(<http://www.mvp.pref.mie.lg.jp>)にて公開しています。
・ホームページ公開件数：50件

④ セミナーの開催・相談窓口

医療・福祉市場の動向や関連法規等の知識を深め本分野への参入を促進するため、セミナーを2回開催しました。県内外の異業種企業が多数参加し、積極的に情報交換を行いました。
相談窓口には、本分野への参入についての相談が寄せられ、専門家が対応しています。

【みえライフイノベーション推進事業費補助金(医療・福祉機器等の製品化促進補助金)】

医療・福祉現場で必要とする医療機器等を製品化するまでの試作、評価、改良等を行う一連の事業の一部を補助し、医療・福祉分野におけるものづくりを促進することを目的に補助制度を設けました。

本年度の交付決定先は、下記のとおりです。

採択事業者	採択案件名
株式会社アイシス	筋肉量バランス測定システム 電気抵抗・赤外線併用型バイオフィードバック装置
株式会社奥村ゴム製作所	縫合トレーニング用擬似血管チューブ及び 縫合部確認用検査機器装置
大衛株式会社	車椅子クッション用防水カバー プレスエア®を用いた車椅子クッション ウロバッグカバー
プランクール伊勢	介護用体重計付きリフター
株式会社プリンシプル	卓上型耳鼻咽喉科用軟性スコープ用洗浄消毒器
株式会社マスオカメディカル	トランポリンを活用した治療機器



ニーズ提案者とのづくり企業のマッチング

今後も、本事業は継続して実施していきますので、引き続きご参加をよろしくお願いいたします。